

I ウクライナの歴史について述べた次の文章を読み、以下の問1～問10に答えなさい。

ウクライナは、広大な東欧平原の南部に位置し、その黒海北岸の一帯はユーラシア内陸を東西に走る草原地帯に連なっている。そのためこの地は、歴史上、ヨーロッパおよびアジアの多様な勢力の侵攻と影響を受けてきた。その意味でウクライナ史を「ユーラシア史」の一つの縮図ととらえることもできる。

この地には9世紀、A ノルマン人の侵入をきっかけとして、キエフ公国が建国された。10世紀末に即位したウラディミル1世はビザンツ皇帝の妹と結婚し、またギリシア正教を国教とした。この頃から11世紀半ばにかけてキエフ公国は繁栄したが、その後衰え、13世紀には B モンゴル人の支配下に入った。

14世紀、ウクライナの大部分がリトアニア大公国の支配下に入る。リトアニア大公国は、ポーランド王国と合体し、C ヤゲヴォ朝（ヤゲロー朝）が成立するが、1569年のルブリン連合で、リトアニアは事実上ポーランドの従属領になり、ウクライナをポーランドに譲った。一方この間、東方ではモスクワ大公国が急速に台頭し、大公イヴァン3世は D 最後のビザンツ皇帝の姪と結婚してツァーリ（皇帝）を名乗った。こうした状況のなか、フメリニツキー率いるウクライナの E コサック（カザーク）は17世紀半ば、ポーランドから独立を勝ち取るための戦争を開始した。フメリニツキーはモスクワ＝ロシアと結んでポーランドに対抗したが、彼の死後、1667年、ウクライナは両国によって分割され、ドニエプル川の左岸がロシア領、その右岸がポーランド領となった。18世紀末には、ポーランド分割によって、右岸もロシア帝国領となった。 F またロシアは1783年、長らくオスマン帝国の保護下で繁栄したクリム＝ハン国を滅ぼし、クリミア半島に進出した。

G 1917年のロシア革命勃発後の複雑な過程を経て、ウクライナはソヴィエト連邦を構成する一共和国となる。そして第二次世界大戦中の一時期には、東方に侵攻したドイツ軍に占領された。

H ウクライナのチェルノブイリ原子力発電所爆発事故は、地球規模の放射能汚染をもたらし、世界に原子力利用の危険性を知らしめた。ソ連においてペレストロイカが進んだ後、ウクライナは他の共和国とともに I 独立国家共同体創設のための協定に調印し、ソ連の消滅を宣言することとなった。 J 旧ソ連圏では民族間の地域紛争が激しくなり、ウクライナではクリミアの分離独立運動が発生した。

問1 下線部Aに関連して、9～13世紀のノルマン人の活動について述べた次の文章1～4のなかから、誤りを含む文章を二つ選びなさい（解答の順序は問わない）。

1. リューリク（ルーリック）を首領とするノルマン人の一派は、ノヴゴロド国やキエフ公国を建設したのちバルカン半島に進出し、ビザンツ帝国による第2次ブルガリア帝国の併合を支援した。
2. ロロが率いるノルマン人の一派は、北フランスにノルマンディー公国を建てた。ノルマンディー公ウィリアムは、ヘースティングズの戦いに勝ってイングランドを征服し、ノルマン朝を開いた。
3. ノルマンディー公国建設の後、ノルマン人の一派は、イタリア半島南部とシチリア島に進出し、この二つの地をあわせて両シチリア王国を樹立した。
4. ノルマン人の居住地に建設されたスウェーデン王国は、バルト海の北東沿岸にウラル語族のフィン人が建国したフィンランドを9世紀に併合したが、13世紀末にはその独立を認めた。

問2 下線部Bに関連して、次の文章中の下線部1～4のなかから誤りを一つ選びなさい。

チンギス＝ハン（太祖）の孫バトゥは、1236年からモンゴル軍を率いてロシア・東欧地域にまで西征し、1241年にはワールシュタット（リーゲニッツ）の戦いで 1 ドイツ・ポーランドの諸侯の連合軍をやぶってヨーロッパ世界を脅かした。 バトゥは、2 サライを首都としてキプチャク＝ハン国の基礎を築き、ロシア諸侯を支配下におさめた。キプチャク＝ハン国は14世紀前半にウズベク＝ハンのもとで最盛期を迎え、イスラームを国教とした。しかし同国は、1380年のクリコヴォの戦いでロシア諸侯に敗れ、14世紀末には 3 オスマン帝国のメフメト2世の侵入を受けて首都を破壊される。 そして1480年には、ウグラ川の対陣によって、モスクワ大公国がキプチャク＝ハン国の支配から完全に脱することとなった。バトゥの西征以来、約2世紀半に及んだモンゴルの支配を、後世のロシア人は 4 「タタールのくびき」と呼んだ。

問3 下線部Cに関連して、ヤゲヴォ朝が断絶したのち、ポーランドの貴族は、国王を選挙で選び、議会を通じて国政の主導権を握るなどした。このポーランドの貴族の名称としてもっとも適切なものを次の1～5のなかから選びなさい。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1. ジェントリ | 2. シュラフタ | 3. パトリキ |
| 4. フロンド | 5. ユンカー | |

問4 下線部Dに関連して、ビザンツ帝国の衰亡とイタリア・ルネサンスとの関係について、90字以内で述べなさい。

問5 下線部Eに関連して、コサックは、ウクライナ地域のみならず、広くロシアの辺境地帯にも存在した。近世以降のロシアのコサックについて述べた次の文章を読み、空欄a～cに入るもっとも適切な語句を以下の1～6のなかから選びなさい。

コサックは、農奴制の圧迫を逃れてロシアの南方ないし南東の辺境地帯に移住した集団で、騎馬軍隊を組織しつつ一種の自治社会を形成していた。1670年から1671年にかけて（ a ）が、1773年から1775年にかけて（ b ）がコサックや農民を率いて、反農奴制的性格をもつ反乱を起こしたが、その際、コサックの掲げる「自由」が民衆をひきつけた。

他方でコサックは、とりわけ18世紀半ば以降、ロシア皇帝によって辺境防備や植民のための軍団として配置され、ツァーリズムの軍事的支柱となって民衆運動の弾圧に当たった。ロシアのコサック将校であった（ c ）は、ロシア革命が勃発すると反革命軍を組織し、日本の支持を受けつつザバイカル州に反革命地方政権を樹立した。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. イェルマーク | 2. ガボン | 3. セミョーノフ |
| 4. プガチョフ | 5. プレハーノフ | 6. ラージン |

問6 下線部Fに関連して、クリミア半島を主要な戦場として、19世紀半ばにはクリミア戦争が起きる。この戦争の背景、経緯、国際秩序に対する影響について160字以内で説明しなさい。

問7 下線部Gに関連して、第一次世界大戦から第二次世界大戦にかけてのロシア・ソ連をめぐる国際関係について述べた次の文章1～4のなかから、誤りを含む文章を二つ選びなさい（解答の順序は問わない）。

1. 独立を回復したポーランドは、旧領土回復をめざしつつポーランド＝ソヴィエト戦争を戦い、ベラルーシの一部とウクライナの一部を得た。
2. ロシア・ウクライナ・ベラルーシ・ザカフカースの4ソヴィエト共和国がソヴィエト社会主義共和国連邦を結成したのに対し、共産主義の拡大を恐れる諸国は対ソ干渉戦争を開始した。
3. 第二次世界大戦が始まるとまもなく、ソ連はフィンランドに侵入して戦争を開始し、国際連盟を除名された。独ソ戦が始まると、再びフィンランドとソ連の間で戦争が起こった。
4. ロシア革命直後の混乱を利用して、リトアニア・ラトヴィア・エストニアのバルト3国は独立を遂げたが、第二次世界大戦開始の翌年にはドイツによって占領され、独ソ戦開始後まもなくソ連に併合された。

問8 下線部Hに関連して、以下の年表は原子力発電や核兵器に関する出来事を年代の古い順に並べたものである。次の事項a～dは、年表のどこに入れるのがもっとも適切か。年表中の空欄1～7のなかから選びなさい（重複使用不可）。

- a. 第五福竜丸がアメリカのビキニ水爆実験で被曝する
- b. パキスタンが同国としては初めて核実験を実施する
- c. フランスのシラク大統領が南太平洋ムルロア環礁での地下核実験再開を宣言する
- d. 米・英・ソなど62カ国が核不拡散条約（核拡散防止条約）に調印する

広島・長崎に原子爆弾が投下される

1

ラッセル＝アインシュタイン宣言が発表される

2

米・英・ソ3国が部分的核実験停止条約（大気圏内外水中核実験停止条約）に調印する

3

インドが同国としては初めて核実験を実施する

4

アメリカでスリーマイル島原子力発電所事故が発生する

5

ウクライナでチェルノブイリ原子力発電所事故が発生する

6

国連総会が包括的核実験禁止条約を採択する

7

ドイツ連邦共和国で90年同盟・緑の党が、シュレーダー首相率いる社会民主党と連立与党を構成する

問9 下線部Iに関連して、ソ連解体にいたる経過に関する次の文章1～4のなかから、誤りを含む文章を二つ選びなさい（解答の順序は問わない）。

1. ゴルバチョフは西ドイツによる東ドイツの吸収を承認した後、新ベオグラード宣言を出して、東欧社会主義圏におけるソ連の指導権を否定した。
2. 東欧革命により東欧の社会主義体制が崩れるなか、ゴルバチョフはワルシャワ条約機構を解散した後、アメリカのブッシュ大統領と冷戦の終結をうたったマルタ宣言に調印した。
3. ソヴィエト連邦体制の維持をねらう一派のクーデタが失敗に終わったことを機に、ソ連共産党は解散に追い込まれた。
4. バルト3国がソ連からの独立を達成した後、エリツィンを大統領とするロシアを中心に独立国家共同体が結成され、ゴルバチョフはソ連大統領を辞任した。

問10 下線部Jに関連して、旧ソ連圏における地域紛争は、ウクライナのほか、とりわけカフカースで多く見られる。次の文章は、ロシア帝国の支配に服して以来、近年の地域紛争にいたるまでのカフカースの歴史について述べたものである。文章中の空欄a～gに入るもっとも適切な語句を、以下の1～8のなかから選びなさい。

南カフカースの諸地域は、19世紀の前半にはほぼロシア帝国の支配下に入ったが、ソ連時代には当初、ザカフカース社会主義連邦ソヴィエト共和国としてソ連を構成する一共和国を成した。この共和国は1936年に（ a ）、（ b ）、（ c ）の三つの共和国に分かれた。しかし各国は内部に少数民族をかかえ、ペレストロイカのところから民族紛争が激しくなる。たとえば（ a ）内の（ d ）自治州を（ b ）に帰属替えしようとする運動が盛り上がって以降、（ a ）と（ b ）との間の本格的な民族戦争が起き、また（ c ）内では（ e ）自治州が独立の動きを示し、内戦に発展した。（ e ）自治州の問題をめぐって2008年8月にも武力衝突が起きたことは、記憶に新しい。

北カフカース山岳部の諸地域は、長く激しい戦争の末、19世紀半ばにロシア帝国に併合された。ソ連時代の1936年にはこの地域に、ロシアに属する（ f ）・（ g ）自治共和国が成立する。しかし、その住民は独ソ戦中、敵と内通する恐れがあるとして、中央アジアなどに追放・強制移住させられ、この自治共和国は一時消滅し、1957年に復活した。ソ連解体後、ロシアは分離独立しようとした（ f ）に侵攻し、独立派との間で膨大な市民の犠牲をともなう戦争が起こった。

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| 1. アゼルバイジャン | 2. アルメニア | 3. イングーシ |
| 4. 北オセチア | 5. グルジア | 6. チェチェン |
| 7. ナゴルノ・カラバフ | 8. 南オセチア | |

Ⅱ カリブ海地域の歴史について述べた次の文章を読んで、以下の問11～問14に答えなさい。

1492年8月3日にスペインのパロスを出港したコロンブスの船団は、約2カ月後、グアナハニ島（現在のバハマ諸島の一つ）に到着したとされる。それ以来、カリブ海地域は近世以降のヨーロッパの発展と結びつきながらも、独自の歴史世界を形成、発展させてきた。

16世紀、カリブ海地域はスペインの支配下に置かれ、アメリカ大陸とスペイン本国間の交易の結節点となった。またこの地域は、A アカプルコ貿易を通してアジア地域ともつながっていた。

17世紀に入ってスペインの国力が衰退すると、オランダ・フランス・イギリスなどがカリブ海地域に進出し、植民地の争奪戦を展開する。また、B アフリカ大陸から黒人奴隷が輸入され、サトウキビやコーヒーなどの栽培が行われた。

フランス革命後、ナポレオン軍がスペインに侵攻し半島戦争に発展すると、それに乗じて C スペイン支配下のアメリカでは次々に独立国が誕生した。 ウィーン体制の動揺を懸念したメッテルニヒはこの動きに介入しようとしたが、アメリカ合衆国大統領モンローは教書を出し、ヨーロッパの干渉を排除しようとした。19世紀末、カリブ海地域における最後の植民地を維持しようとするスペインとの戦争に勝利したアメリカ合衆国は、さらに D 積極的なカリブ海政策を 推し進め、この地域に対する支配を強めていった。

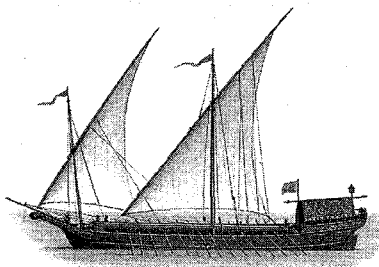
長年にわたる大規模なプランテーション経営は生態系の変化を引き起こし、この地域は土壌の消耗、浸食、乾燥化という問題に直面している。また、ヨーロッパ人やアフリカ系黒人など人種間・民族間の混交が進み、「クレオール語」（混交語、混成語）に象徴されるような複雑な言語・文化状況も生まれた。

問11 下線部Aに関連して、次の（１）、（２）に答えなさい。

（１） アカプルコとマニラを結ぶ太平洋航路で主として使われていた船は何と呼ばれていたか、その名称を記しなさい。

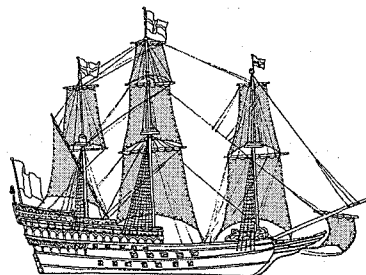
（２） 次の１～４は歴史上使われてきた船とその説明である。１～４のなかから、（１）の船に該当するものを選びなさい。

1.



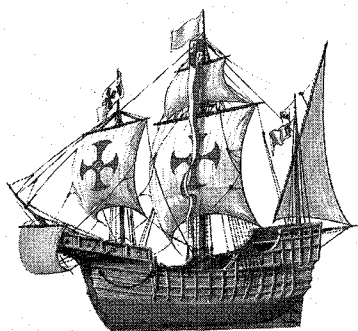
船体は細長く、帆漕両用の大型船。多数の櫂(かい)が船体から出ている。

2.



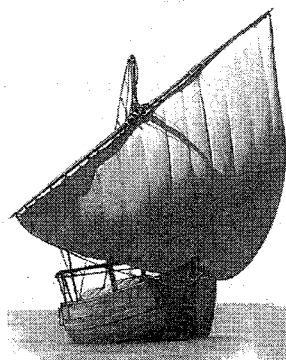
船首楼を低く、船尾楼を階段状に高くした大型帆船。船体の両側に大砲が装備され、軍艦としても使用された。

3.



北欧の横帆船と地中海の三角帆が融合して生まれた船。200～600トンが主流だったが、その後大型化した。

4.



前方に大きな三角帆が張られ、木材を紐で縛った縫合船。タールなどで防水加工をほどこした。

問12 下線部Bに関連して、16世紀から18世紀にかけてのカリブ海とその周辺地域の製糖産業について述べた次の文章中の下線部1～6のなかから誤りを二つ選びなさい（解答の順序は問わない）。

サトウキビを原料とする製糖はインド北東部で始まり、その後、ムスリム商人らによって西へ伝えられ、イベリア半島にもたらされた。大航海時代になると、製糖技術は大西洋上の島々やアメリカ大陸に伝播した。

アメリカ大陸で最初に製糖を輸出産業としたのはポルトガルの植民地ブラジルであった。北東部沿岸の農園ではインディオや黒人奴隷の労働力が投入され、生産が拡大した。砂糖の生産と販売ではユダヤ系市民が重要な役割をはたしていた。しかし1630年頃から¹オランダ人が、製糖産業の中心であった北東部沿岸の一部を占領し、サトウキビのプランテーション経営に乗り出した。17世紀半ば、彼らはブラジルを追われるが、製糖技術や黒人労働力をカリブ海の島々にもたらした。

17世紀半ば²イギリスによって占領されたジャマイカや17世紀末にフランスに割譲された³サン＝ドマングは、ヨーロッパでコーヒーや紅茶が普及し砂糖に対する需要が増大すると、一大砂糖生産地となっていく。カリブ海地域で生産された砂糖はヨーロッパに運ばれ、ヨーロッパから火器や綿製品がアフリカに輸出され、アフリカで買い付けられた奴隷がアメリカ大陸で売られるという三角貿易が行われ、特に⁴リヴァプールや⁵リユーベックなどがこの貿易で繁栄した。一方、西アフリカにも、ポルトガルと結びつつ、奴隷輸出をおこなって経済的に繁栄した⁶モノモタパ王国などがあった。

問13 下線部Cに関連して、メキシコについて述べた次の文章を読んで、以下の（１）～（４）に答えなさい。

メキシコはスペインから独立した後も、政治的に不安定な状態が続き、分離・独立運動やアメリカ合衆国との戦争などにより、建国後30年にして国土の半分を失った。19世紀半ばになると保守派と自由主義者の間で内戦が起こり、外国の干渉を招くことになる。その後、独裁政治のもとで近代化が進められたが、貧富の差が拡大した。

20世紀初頭の革命によって1917年に制定された民主的憲法は、現在のメキシコの出発点となるとともに、ラテンアメリカ全体にも影響を与えた。また、革命によって国内で民族主義が高揚し、教育や文化面でも新たな動きが生まれた。それは欧米を模倣した近代化路線の見直しであり、メキシコ人のための新しい社会の基盤となる思想の追求を意味していた。

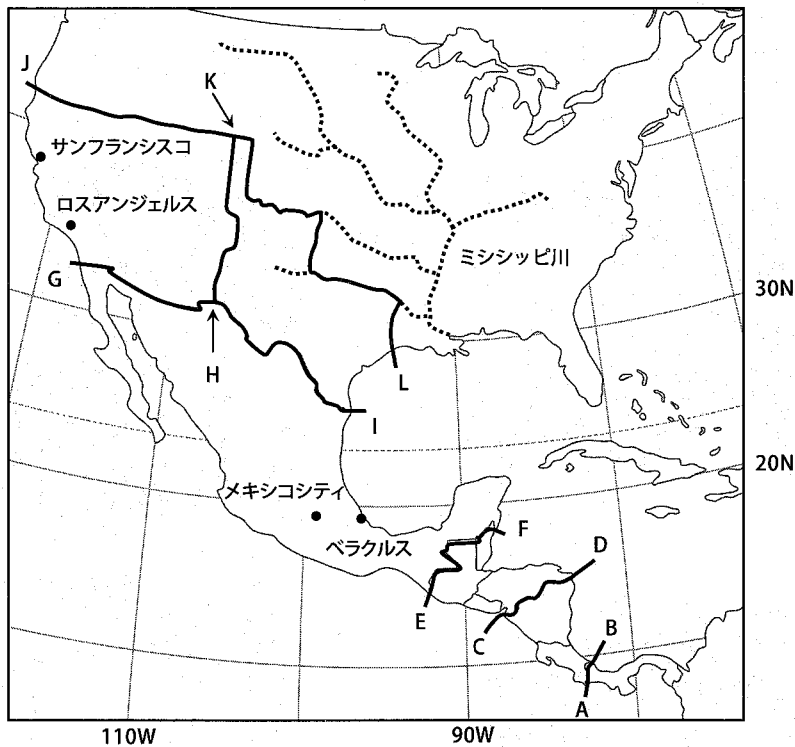
(1) 下線部アに関連して、以下の地図を見て、次の(a)、(b)に答えなさい。ただし、地図上の国境線は現在のものである。

(a) 1820年代に、メキシコから中央アメリカにかけての地域でも、スペインからの独立が進んだ。1823年に中央アメリカ連邦が成立した時のメキシコの南東部の国境線として、もっとも適切なものを次の1～3のなかから選びなさい。ただし、A～Fは、地図上の記号に対応している。

1. A - B 2. C - D 3. E - F

(b) 1846年にメキシコ＝アメリカ戦争(米墨戦争)が勃発した。勃発時にアメリカ側が認識していた国境線として、もっとも適切なものを次の1～4のなかから選びなさい。ただし、G～Lは、地図上の記号に対応している。

1. G - H - I 2. G - H - K - L 3. J - K - H - I 4. J - K - L



〔注〕太線の中には現在の国境線が含まれる場合もある。

(2) 下線部イに関連して、1860年代におけるフランスのメキシコ介入に関して、次の(a)、(b)に答えなさい。

(a) メキシコにフランスと共同で軍事介入した国を次の1～7のなかから二つ選びなさい(解答の順序は問わない)。

1. イギリス 2. オーストリア 3. オランダ 4. スペイン
5. プロイセン 6. ポルトガル 7. ロシア

(b) 軍事介入時にメキシコ皇帝として推され、フランス軍撤退後もメキシコに残留し処刑された人物の兄は誰か。次の1～4のなかから選びなさい。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. アレクサンドル2世 | 2. フランツ＝ヨーゼフ1世 |
| 3. ルイ＝ナポレオン | 4. ルイ＝フィリップ |

(3) 下線部ウの革命には多数の農民も参加した。この時の農民運動指導者として活躍したのは誰か。もっとも適切な人物を次の1～5のなかから一人選びなさい。

- | | | |
|---------|--------|---------|
| 1. カランサ | 2. サパタ | 3. ディアス |
| 4. ファレス | 5. マデロ | |

(4) 下線部エに関連して、メキシコでは20世紀前半から新しい民衆的な芸術表現の潮流が盛んになった。これについて、次の(a)～(c)に答えなさい。

(a) この芸術表現の潮流にもっとも関係の深い絵画を次の1～4のなかから一つ選びなさい。

1.



2.



3.



4.



(b) この芸術表現の潮流は何と呼ばれているか。もっとも適切なものを次の1～4のなかから一つ選びなさい。

- | | | | |
|--------------|---------|--------|--------|
| 1. シュールレアリスム | 2. 壁画運動 | 3. 野獣派 | 4. 立体派 |
|--------------|---------|--------|--------|

(c) この芸術表現の潮流にもっとも関係の深い芸術家を次の1～4のなかから一人選びなさい。

1. シケイロス

2. ダリ

3. ドーミエ

4. マティス

問14 下線部Dに関連して、次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 米西戦争後の1901年、アメリカ合衆国がキューバに対する干渉権を獲得するために、一連の条項が合衆国議会で可決され、その後キューバ憲法に追加条項として組み込まれた。合衆国議会で可決されたこの一連の条項は何と呼ばれるか。その名称を記しなさい。

(2) 米西戦争で自ら戦闘に参加し、その後1901年に合衆国大統領に就任した人物の説明として、もっとも適切なものを次の1～4のなかから一つ選びなさい。

1. 国内では「新しい自由」を掲げ、対外的にはアメリカ自由主義の規範を中南米諸国に押しつけた。

2. 国内では革新主義の改革政策を推し進める一方、パナマ運河の建設に着手するなど積極的な対外進出政策をとった。

3. それまでの武力干渉を転換して、経済力による浸透を重視する「ドル外交」を提唱した。

4. ハワイを併合し、国務長官ジョン＝ヘイの「門戸開放宣言」によって、極東の国際政治に参加しようとした。

Ⅲ 第二次世界大戦以後の国際的な協調と対立について述べた次の文章を読んで、以下の問15～問19に答えなさい。

1939年9月にドイツ軍のポーランド侵攻によってヨーロッパにおける第二次世界大戦が始まった。1945年の日本敗戦まで長期にわたり連合国と A 枢軸国 との間の戦いを中心に世界の各地で戦闘が繰り上げられた。第一次世界大戦の戦後処理の問題が第二次世界大戦勃発の一因であるとみなされていたため、大戦開始直後から各国間で B 戦後の平和構想 や戦後処理などについて検討が重ねられていた。

第二次世界大戦後には、新たに国際連合が設立される一方、 C 冷戦 と呼ばれる米ソをそれぞれの中心とした東西両陣営の緊張関係が続いた。また、 D 第二次世界大戦後に独立した諸国 を中心に、第三勢力の形成をめざす動きも現れた。

冷戦体制は1990年代初めには解消し、東欧の社会主義圏やソヴィエト連邦も解体した。しかし、引き続き世界の各地域では、 E 宗教・資源・経済問題 などを背景にした紛争や対立が続いている。

問15 下線部 A に関連して、以下の年表は、枢軸国の一つであったイタリアの近代における統一から1930年代までの出来事を年代の古い順に並べたものである。次のイタリアに関する事項 a～d は、年表のどこに入れるのがもっとも適切か。年表中の空欄 1～6 のなかから選びなさい（重複使用不可）。

- a. 国際連盟を脱退する
- b. トリエステなどの「未回収のイタリア」を獲得する
- c. トリポリとキレナイカを獲得する
- d. ローマに遷都する

| |
|----------------------|
| 1 |
| ドイツ・オーストリアと三国同盟を締結する |
| 2 |
| アドワの戦いで敗れる |
| 3 |
| ロンドン秘密条約を結ぶ |
| 4 |
| ムッソリーニ政権下でフィウメを獲得する |
| 5 |
| ムッソリーニ政権下でエチオピアに侵攻する |
| 6 |

問16 下線部Bに関連して、次の史料1～史料4は、第二次世界大戦中に行われた諸会談によって作成された文書の一部を日本語に訳したものである（必要に応じて、文章の一部を省略した）。これらについて、以下の（1）～（3）に答えなさい。

【史料1】

三大連合国の目的は、1914年の第一次世界大戦の開始以来、日本が奪取または占領した太平洋におけるすべての島嶼を日本より剥奪すること、ならびに（ア）、台湾、（イ）など日本が奪取したすべての地域を（あ）に返還することである。…… 前述三大連合国は、（ウ）人民の隷属状態を考慮し、しかるべき時に（ウ）に自由と独立をもたらさんと決意している。

三大連合国は、こうした諸目標を念頭に置きながら、日本と交戦中の他の連合国と協調しつつ、日本の無条件降伏を確保するために必要な重大で長期にわたる作戦に引き続き精励する。

【史料2】

第1、両国は、領土であろうとそれ以外であろうと、いかなる拡大も求めない。……

第3、両国は、すべての人民が、彼らがそのもとで生活する統治形態を選択する権利を尊重する。……

第8、両国は、世界すべての国々が精神的のみならず現実的理由によって、武力行使の放棄に到達しなければならぬと確信する。

【史料3】

（1）われわれ……は、あわせて数億人に上るそれぞれの国民を代表して協議し、日本にこの戦争を終結する機会を与えることに同意した。……

（13）われわれは日本政府に対して、ただちに全日本軍の無条件降伏を宣言することと、その誠実な遂行を適切かつ十分に保証する措置を要求する。日本にとってそれ以外の選択肢は、迅速かつ完膚なき破壊である。

【史料4】

三大国……の指導者たちは、ドイツが降伏しヨーロッパにおける戦争が終結したのち2ないし3カ月のうちに、（い）が以下の条件により連合国の側に立って対日戦争に参加することに合意した。……

第2条 1904年の日本による背信的攻撃によって侵害された旧権利は回復されるものとする。すなわち、

a. （エ）は（い）に返還されるものとする。……

第3条 （オ）は（い）に引き渡されるものとする。

（1）上の（ア）～（オ）にあてはまるもっとも適切な語を、次の1～9のなかからそれぞれ一つ選びなさい（重複使用不可。ただし、（ア）、（イ）の順序は問わない）。

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|-------|
| 1. 沿海州 | 2. 九竜半島 | 3. 山東半島 | 4. 千島列島 | 5. 朝鮮 |
| 6. 澎湖諸島 | 7. 満州 | 8. 南樺太 | 9. 琉球 | |

(2) 上の (あ), (い) にあてはまるもっとも適切な語を, 次の1～4のなかからそれぞれ一つ選びなさい (重複使用不可).

1. 合衆国 (アメリカ) 2. ソヴィエト連邦 3. 中華民国 4. 連合王国 (イギリス)

(3) 上の史料1～史料4が作成された会談の行われた時期を古い順に並べかえ, 史料の番号を解答欄の左から記入しなさい.

問17 下線部Cに関連して, 以下の年表は, 冷戦体制下のヨーロッパにおける出来事を年代の古い順に並べたものである. 次の事項a～dは, 年表のどこに入れるのがもっとも適切か. 年表中の空欄1～6のなかから選びなさい (重複使用不可).

- a. 英・仏・ベネルクス3国がブリュッセル条約に調印する
b. コミンフォルムが結成される
c. 米・英・仏などがパリ協定に調印し, 西独の主権回復が承認される
d. 米・加・英・仏など12カ国が北大西洋条約に調印する

1

マーシャル＝プランが発表される

2

チェコスロヴァキアでクーデタによって共産党が政権を掌握する (2月事件)

3

ソ連と東欧5カ国が経済相互援助会議 (コメコン) 創設を発表する

4

ベルリン封鎖が解除される

5

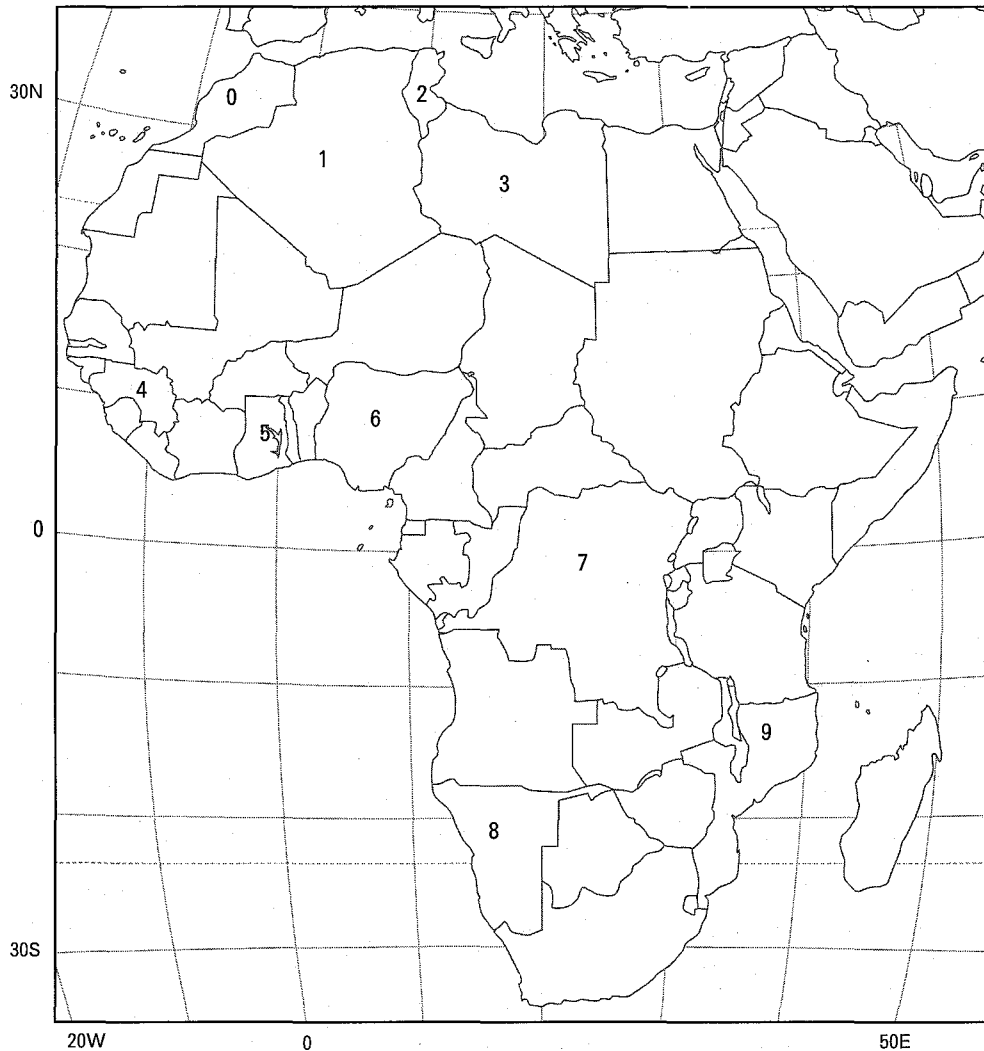
ワルシャワ条約機構が結成される

6

問18 下線部Dに関連して, 第二次世界大戦後のアフリカ諸国の独立について述べた次の文章を読み, 空欄a～gにあてはまる国の位置として適切なものを, 以下の地図上の番号0～9のなかからそれぞれ一つ選びなさい.

アフリカでは, 第二次世界大戦中までイタリアの植民地であり, その後英・仏の統治下に置かれていた (a) がいち早く独立をはたしたが, ヨーロッパ諸国からの独立が相次いだのは, 1955年にバンドンで開催されたアジア・アフリカ会議以降のことであった. 1956年にはイギリスからスーダンが, フランスからは (b) と, (a) に隣接する (c) とが独立し, その翌年には, エンクルマラの指導のもとで (d) が独立した. (e) では民族解放戦線 (FLN) が中心となった独立戦争が長期化していたが, 1962年にエヴィアン協定が調印されて停戦が成立し, 独立が達成された.

ただし, (f) では, 独立をはたしながらも, 資源をめぐる紛争に欧米諸国が干渉にのりだし, ルムンバ首相の暗殺という事態が起きた. また, (g) など, 宗主国で政変が起きたのち1970年代半ばに独立をはたした国もあった.



〔注〕地図中の国境線は現在のものである。

問19 下線部 E に関連して、次の（１）～（３）に答えなさい。

（１）以下の図 A は、第二次世界大戦後のある年から30年間の中東産の原油価格の毎年の推移をグラフ化したものである。次の文章ア～オに示された出来事は、それぞれ図中の 1～3 のどの時期に起きたものか。1～3 の時期にあてはまらない場合、1 より前の出来事については 4 を、3 より後の出来事については 5 を記入しなさい。

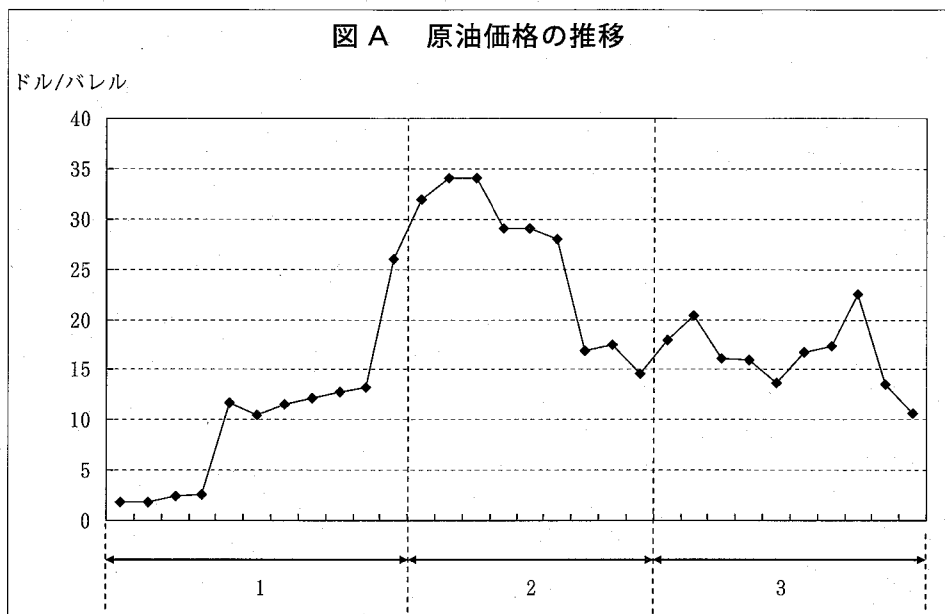
ア. アメリカで 9・11 同時多発テロが発生した後、米・英を中心とする多国籍軍はアフガニスタンのタリバーン政権への攻撃を開始した。

イ. イランで、ホメイニを最高指導者とするイラン＝イスラーム共和国が成立した。

ウ. タイ・バーツの下落に端を発した通貨危機が東南アジア諸国や東アジア諸国に波及して、アジア通貨危機となった。

エ. 第 4 次中東戦争に際して、アラブ石油輸出国機構が親イスラエル諸国への輸出規制を行う石油戦略をとった。

オ. イスラエルとパレスチナ解放機構の間で、パレスチナ暫定自治の諸原則に関する宣言が合意された。



〔注〕 グラフ上の点で示された原油価格は、アラビアンライトの各年1月の価格である。

〔出所〕 経済産業省資源エネルギー庁『エネルギー白書2007』より作成。

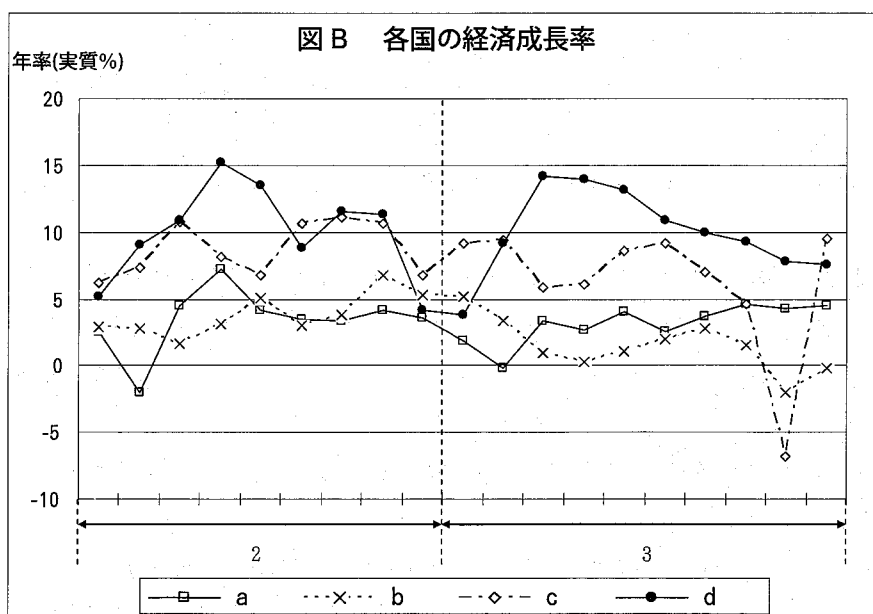
(2) 以下の図 B は、図 A の 2 と 3 の時期における、ある 4 カ国の年平均経済成長率の推移をグラフ化したものである。図 B の a ～ d に該当する国名を次の 1 ～ 4 のなかから、それぞれ選びなさい。

1. アメリカ

2. 韓国

3. 中国

4. 日本



〔出所〕 The World Bank, *World Development Indicators 2008* より作成。

(3) 図 B の a に該当する国について、図 A および図 B の 2 の時期における経済情勢と経済政策を60字以内で説明しなさい。

Ⅳ 次の史料は中国共産党の文書の一つ「抗日救国のために全同胞に告げる書」（いわゆる八・一宣言）の一部を日本語に訳したものである（必要に応じて、文章の一部を省略し、単語を補足した）。この史料を読んで、以下の問20～問25に答えなさい。

国内外の労・農・軍・政・商・学、各界の男女同胞たちよ！

日本帝国主義はわが国への進攻を強めているが、南京売国政府は一步一步投降し、わが北方各省は東北四省^Aに続いて実際、奪われてしまった！

現在にいたるまで、わが同胞の抗日救国事業が当然あるべき勝利を得られないでいる原因は、一方では日本侵略者と^B 蔣賊とが内外から挟撃するからであり、他方では各種抗日反蔣勢力相互間に色々なわだかまりや誤解があつて、一致団結できないでいるからである。

それゆえ、まさにわが国・わが民族滅亡の大災禍が目前に迫っている今、共産党と^C [中華] ソヴィエト政府は再度全同胞に呼びかける。各党派間で過去および現在いかなる政見および利害の相違があろうとも、各界同胞間でいかなる意見あるいは利害の相違があろうとも、……まず皆が内戦を停止し、一切の国力（人力、物力、財力、武力など）を集中して抗日救国の神聖な事業のために奮闘すべきである。ソヴィエト政府と共産党は、特に再度厳粛に宣言する。国民党軍が紅軍への攻撃行動を停止しさえすれば、またいかなる部隊であれ、対日抗戦を実行しさえすれば、……紅軍は直ちに敵対行為を停止するだけでなく、さらに^D 親しく手を携えて共同して救国に当たることを願うものである。このほか、ソヴィエト政府と共産党は今、さらに懇ろに呼びかける。

亡国奴になることを願わないすべての同胞たちよ！

……

中国領内のすべての^E 被圧迫民族（モンゴル、回、韓、チベット、苗、ヤオ、黎、番など）の兄弟たちよ！
皆、立ち上がれ！

（注）〔 〕は訳者補注。

問20 下線部Aに関連して、以下の年表は、この宣言にいたる時期の中日関係に関わる出来事を年代の古い順に並べたものである。次の事項a～dは、年表のどこに入れるのがもっとも適切か。年表中の空欄1～6のなかから選べなさい（重複使用不可）。

- a. 済南事件が起こる
- b. 日本が国際連盟を脱退する
- c. 満州国の建国が宣言される
- d. 柳条湖事件が起こる

1

日本軍による第1次山東出兵が始まる

2

張学良の参加により、国民政府の全国統一が達成される

3

第1次上海事変が起こる

4

日本で五・一五事件が起こる

5

日本によって冀東防共自治政府が設置される

6

問21 下線部Bに関連して、八・一宣言が出された当時の蒋介石らの国民政府は、中国共産党勢力と日本軍に対して「安内攘外」といわれる政策をとっていた。「安内攘外」政策について50字以内で説明しなさい。

問22 下線部Cに関連して、中華ソヴィエト共和国臨時政府の主席だった毛沢東は、長征や延安での活動を通じてソ連の影響を排除しつつ共産党内の主導権を握り、中国革命を勝利に導いた。中華人民共和国建国から1980年代初めの鄧小平体制確立期までの中ソ関係について述べた次の文章1～4のなかから、誤りを含む文章を一つ選びなさい。

1. 中華人民共和国は建国後、ソ連と中ソ友好同盟相互援助条約を結び、良好な関係を保持した。しかし、フルシチョフによる西側諸国との平和共存や緊張緩和政策をめぐって両国の関係は悪化した。
2. 1960年代初め、中ソ関係が悪化するとソ連は中国への経済援助を停止し、技術者を引き揚げた。コミンフォルム加盟国のなかでは、アルバニアとキューバが中国支持を鮮明にした。
3. 文化大革命期には、ソ連はブレジネフ共産党書記長とコスイギン首相による体制となっていた。この時期、中ソ対立は激化し、ついに両国は国境を流れるウスリー川で武力衝突するにいたった。
4. 中ソ対立は周辺国へも影響した。カンボジアで親中国の波尔＝ポト政権が成立すると、カンボジアは隣国ベトナムと対立した。カンボジアにヘン＝サムリン政権が成立すると、中越間の対立が激化し、戦争にいたった。

問23 下線部Dに関連して、西安事件発生から第2次国共合作成立前後までの経過について述べた次の文章1～4のなかから、誤りを含む文章を一つ選びなさい。

1. 西安事件が起こると、中国共産党を代表する周恩来が蒋介石と会談し、事件の平和解決が図られた。
2. 中国共産党は第2次国共合作実現に向け、地主から土地を没収するのを止めるなど対国民党妥協案を提示した。
3. 国民党が第2次国共合作を宣言すると、日本の関東軍は機先を制すべく盧溝橋事件を起こし全面戦争に入った。
4. 盧溝橋事件が起こると、紅軍は改編され国民政府の編制下に入った。

問24 下線部 E に関連して、チベットとチベット仏教について述べた次の文章中の空欄 a～e に入るもっとも適切な語句を、以下の 1～9 のなかから選びなさい。

チベットでは14世紀から15世紀にかけて活動した（ a ）によるチベット仏教の改革で、厳しい戒律の新たな教派（ b ）派が生まれた。16世紀後半、モンゴルの実力者となってたびたび明の領土をおびやかしていた（ c ）は、この（ b ）派に帰依し、当時の教主に（ d ）という称号をおくった。この時期には、モンゴル人の間にチベット仏教がひろまった。17世紀前半にはチベットでは（ d ）が事実上政治・宗教の最高権力を握った。18世紀前半に（ e ）がチベットに侵入すると、清朝はこれに介入し、チベットを藩部とした。

- | | | | | |
|------------|----------|--------|------------|----------|
| 1. アルタン＝ハン | 2. ウイグル | 3. 黄帽 | 4. サキヤ | 5. ジュンガル |
| 6. ダライ＝ラマ | 7. ツォンカパ | 8. パスパ | 9. フビライ＝ハン | |

問25 八・一宣言前後の世界情勢と作家たちの動きについて述べた次の文章を読んで、以下の（1）、（2）に答えなさい。

ヨーロッパでファシズム勢力が増大すると、反ファシズム側の運動もひろまった。1932年、フランスのバルビュスや（ a ）の呼びかけによってアムステルダムで開かれた国際反戦会議にはヨーロッパ諸国から多くの知識人が参加した。また、ドイツではナチスの政権掌握後、ノーベル賞作家（ b ）は外遊して帰国を断念、そのまま亡命生活に入り、ドイツ市民権を奪われた。

コミンテルンも1935年、モスクワで第7回大会を開催して社会民主主義勢力との反ファシズム統一戦線を提起した。1936年、フランスでは社会党・共産党を中心に人民戦線内閣が成立した。同年、スペインでも社会党や共産党、共和主義者が参加する人民戦線内閣が誕生したが、^① フランコ将軍の率いる反乱軍との内戦となった。人民戦線政府が英・仏政府やソ連政府の十分な支援を得られぬなか、国際義勇軍が組織され、世界各国の人々が共和国側に立って反乱軍と戦った。そのなかには、のちにノーベル文学賞を受賞するアメリカの（ c ）や、第二次世界大戦後ド＝ゴール政権の文化相などをつとめた（ d ）、さらには鋭い文明批評で知られる英国の（ e ）などの作家もいた。しかし、1939年、反乱軍は首都マドリッドを陥落させて、共和国側は最終的に敗北した。

（1） 文章中の空欄 a～e に入るもっとも適切な語句を、以下の 1～9 のなかから選びなさい。

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1. オーウェル | 2. サルトル | 3. ジョイス |
| 4. トマス＝マン | 5. バーナード＝ショー | 6. プルースト |
| 7. ヘミングウェイ | 8. マルロー | 9. ロマン＝ロラン |

（2） 下線部 ① に関連して、フランコ政権について述べた次の文章 1～4 のなかから、誤りを含む文章を一つ選びなさい。

1. イタリアとナチス＝ドイツは軍隊を派遣してフランコ反乱軍を支持した。
2. フランコ政権下のスペインとサラザール政権下のポルトガルは第二次世界大戦で中立の立場をとった。
3. フランコ政権下のスペインは第二次世界大戦後、米国と接近し、NATO にも発足と同時に加盟した。
4. フランコが死ぬと、スペインではフアン＝カルロス 1 世が国王に即位し、民主化が進行した。